



RFL通信

Vol.4 2月号

発行: 特定非営利活動法人 Return to Forest Life
住所: 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2816
FAX: 03-5737-9552
ホームページ: <http://www.returntoforestlife.or.jp/>
E-mail: info@returntoforestlife.or.jp



ワタミの森では材の有効活用を実現する為の準備が進んでいます
いつもありがとうございます。会員の皆様のおかげでワタミの森の再生が進んでいます。
今回はワタミの森の再生にかかせない材の活用について、森の現状も一緒に詳しくお伝えさせて
頂きます。

事務局長メッセージ

活動方針 2 「森林の資源の有効活用」



前回はRFL第1の活動方針「不健全な森林の再生」について説明させて頂きました。
今回はRFL第2の活動方針「森林の資源の有効活用」について説明させて頂きます。

■RFLではワタミの森の間伐材をワタミグループの介護の建材や公益財団法人School Aid Japanの募金箱、箸等に加工し『使う』ことにも力を入れています。



建材をつくる過程で出る
端材を使用し募金箱や、
箸も作成しています



～人工林を間伐する理由～「間伐って何？」

日本の人工林は最初に沢山苗木を植えます。その後良い木を残すように定期的に木を伐っていきます。木を伐ることで陽射しが入り、残った木がまた成長します。その作業を「間伐（かんばつ）」と言います。日本の人工林では全国各地この方法で建材用の木を育ててきました。つまり日本の人工林を育てたり、管理したりするためには大量の間伐材が出てくるのです。

～間伐した材を使う理由～「そのまま林内に置いたままでは駄目なの？」

国産材が使われなくなってきた日本では間伐材が林内に放置されており、各地で問題が起きています。その問題の一つが土砂崩れにつながる土砂の流出です。なぜ土砂の流出につながるかというと、間伐した木を放置したままにすることで土に陽射しが入り草などが生えないため、土をつかむ機能を持つ「根」が無い状態になるからです。また、放置した木が元気な木の根を痛めるという問題もおこっています。さらには、林内に放置されて腐る木からは成長過程で抱えたCO2が再び大気中に放出されてしまっています。そこでRFLでは継続性のある間伐材の使用用途を考え森の材を搬出することにも努めています。

■材の搬出に必要な森の「道づくり」も会員の皆様とボランティア活動で進めています。材の搬出に必要な作業道（道）が足りないのも日本の森の問題です。ワタミの森では材の搬出がしやすいように会員の皆様と一緒にボランティア活動で作業道整備も進めています。2011年5月から始めて9月には幅2メートル長さ約100メートルの作業道が完成しました。

▽5月～9月にかけてつくった作業道



(事務局長 小出)

会員活動報告 2012年 1月 活動内容



□1月7日 **事務局が大阪の森林ボランティア活動に参加**
 今後一緒に活動をさせて頂く予定のNPO法人「日本森林ボランティア協会」様の活動地、大阪の能勢に事務局が行ってまいりました。
 これから、関西にいる会員の皆様にも参加頂けるよう打ち合わせをして調整をさせて頂いております。4月から、関西の会員の皆様にも活動をご案内させて頂きます！

□1月14日 **ワタミの介護（株）から52名様がボランティア活動に参加**
 千葉県山武市のワタミの森にて間伐作業を行いました。雪の残る寒い日でしたが一生懸命取り組んで下さいました。現在は病気（溝腐れ病）の木の間伐を優先的に進めています。森の中を案内させて頂く際に2007年から間伐を行ってきた場所と、まだ手入れが進んでいない場所の両方を見ていただいています。参加された方からは「木の状態の違いが分かるのと同時に、人工林の手入れの大切さも知ることが出来た」という声を頂きました。

ワタミの森の状況報告【林地残材搬出】

2006年ワタミの森の活動がスタートしてから、間伐しても運び出せず林内に放置するしかなかった残材を2012年1月やっと運び出すことが出来ました。



放置された残材



搬出された材

この日は森の中に放置された材約100tを搬出できました

作業道（木を運ぶ道）を5月～9月のボランティア活動で作り、材を集積する場所（土場）を業者様に依頼し、1月に林内の材の搬出がスタート。使用用途に合わせて「A材」「B材」「C材」と分けています。



土場になる前の状態



完成した土場



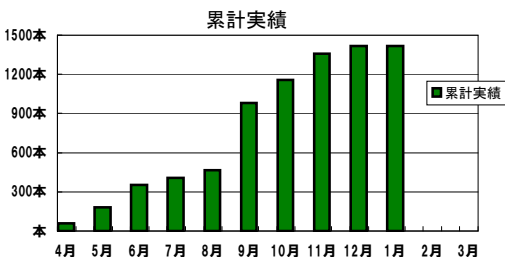
材集積後

森の入り口に土場があるので、運搬しやすく使用用途に合わせた搬出が可能になりました。今後はA材を建材に、B・C材を木質ペレット（※）等にしてい予定。森の材を余すことなく使いきれようRFLは様々な取り組みをおこなってまいります。

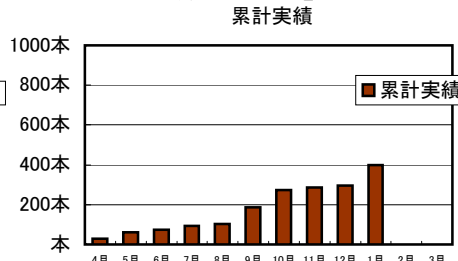
※木質ペレットは石油、石炭のように燃料として活用できます。
 木を燃やして出るCO2は成長過程で吸収してきたCO2であり、大気中のCO2を増やすことにはならない（通称：カーボンニュートラル）ため、木質燃料が現在注目を集めています。



植樹本数 計画【1500本】と実績



間伐本数 計画【1000本】と実績



2012年RFL会員数（2月1日現在）

正会員	17	人
賛助会員	1,330	人
100円サポーター	2,764	人

ご協力いただき誠にありがとうございます